

令和6年度
経営発達支援計画 事業評価報告書

岩瀬管内商工会広域連携協議会

須賀川市 鏡石町 天栄村

■外部評価の目的

岩瀬管内商工会広域連携協議会(岩瀬商工会、長沼商工会、大東商工会、鏡石町商工会、天栄村商工会)と須賀川市、鏡石町、天栄村は、令和3年3月に経済産業省より「経営発達支援計画」の認定を受けて小規模事業者の持続的発展を支援するための各種事業に取り組んでいる。

本評価は、経営発達支援計画に基づいて実施した事業について、PDCAサイクルによる評価、検証、見直しを行い、次年度以降の各事業に反映させることを目的に行うものである。

■事業の実施期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日の5年間

■経営発達支援事業の目標

- (1)事業計画策定支援による地域内商工業者の経営力強化
- (2)新規創業者を発掘・育成及び事業承継支援によって小規模事業者の減少を抑制
- (3)IT活用支援によるブランド形成・マーケティングの強化

■評価基準

- A:実施され効果が見られたもの
- B:実施され効果が期待できるもの
- C:実施されたが効果が見られないもの
- D:実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

■評価検討委員

○委員長

鈴木 龍京(税理士・中小企業診断士)

○委員

佐藤 茂吉(岩瀬商工会 副会長)

浅川由紀夫(長沼商工会 理事)

佐藤 成行(大東商工会 顧問)

根本竜太郎(鏡石町商工会 副会長)

田代 嘉宏(天栄村商工会 副会長)

塩田 喜一(須賀川市経済環境部商工課長)

吉田 光則(鏡石町産業課長)

芳賀 信弘(天栄村産業課長)

目黒 孝幸(福島県商工会連合会 中通り広域指導センター 主任主査)

1. 地域の経済動向調査に関すること

●計画概要

国が提供するビッグデータを活用し、地域の経済動向に関する情報の収集を行い分析する。
又、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的に行う。調査分析結果は、管内小規模事業者に対して広く公表する。

●実施内容

・地域経済動向調査事業

① 中小企業景況動向調査の充実

管内の景気動向等について、より詳細な実態を把握するため、現在行っている全国商工会連合会の「中小企業景況動向調査」により、管内小規模事業者の景気動向等について詳細な調査・分析を定期的(四半期ごと)に行う。

【調査対象】管内小規模事業者 15 社

(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業から均等に選定)

【調査項目】売上額、業況、採算、資金繰り、雇用、設備投資、経営上の問題等

【調査手法】経営指導員等による聴き取り調査

【調査回数】6 月、9 月、11 月、3 月の年 4 回

② 景況及び支援要望調査

管内の景況及び支援ニーズを把握するため管内商工会員を対象に調査・分析を行う。特に事業承継に関する調査を重点的に行う。

【調査対象】管内商工会員(回収 164 社)

【調査項目】売上額、所得(経常利益)、支援要望、事業承継に関する方向性、承継時期、DX の取り組みについて等

【調査手法】経営指導員等による聴き取り又は郵送による調査

【調査時期】5 月 28 日～6 月 30 日

●目標及び実績

内容	目標	実績	昨年度
①ビッグデータ活用による地域の経済動向分析の公表回数(回)	1	0	(0)
②中小企業景況動向調査公表回数(回)	4	5	(4)

●自己評価

▼ビッグデータ活用については、RESAS のデータの更新が少ないため分析を見送っているが、分析の頻度を増やす方法を検討していきたい。

▼景況調査については、四半期毎の調査の他、独自調査項目を追加した調査も行い管内事業所の経営課題把握に努めた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	0	7	3	0

●評価委員によるコメント

- ・中小企業景況動向調査の公表回数は目標(4回)を上回る5回となり、地域経済の実態把握に貢献した点は評価できます。
- ・ビッグデータ(RESAS)を活用した分析の実施回数は目標(1回)に対して0回となっており、データの更新頻度の問題もあるが、代替データの活用や独自の調査手法の検討も求められます。
- ・支援要望の結果を踏まえ、支援ニーズの把握から実行支援にどう移行していくのか。限られた職員数の中ではあるが、より一層の効率的、効果的な支援を望みます。

2. 需要動向調査に関すること

●計画概要

より効果的な事業計画策定を行うための基礎データとして活かすため、来店客に対する調査用紙を設置したアンケート調査、又はホームページやSNSを活用したWEB調査を実施する。調査結果は分析した上で支援先にフィードバックすることで、需要を見据えた新商品開発や事業計画策定ができるよう支援する。

●実施内容

・事業計画策定支援を通じた需要動向分析

事業計画策定支援の際に、市場、商圈、消費者ニーズ等の分析を行い計画策定に活用する。

●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
需要動向調査事業者数		50	36	(52)
内訳	岩瀬商工会	10	16	(19)
	長沼商工会	10	7	(1)
	大東商工会	8	1	(2)
	鏡石町商工会	14	7	(15)
	天栄村商工会	8	5	(15)

●自己評価

- ▼アンケート調査については事業所からの要望がなく、今年度の実施はなかったが経営革新計画策定支援や補助金申請等を通して需要行動分析を行い計画策定に活かすことができた。
- ▼補助金の公募自体が少なかったため、それに伴う需要動向分析も少なくなった。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	0	7	3	0

●評価委員によるコメント

- ・需要動向調査の実施件数は目標(50件)に対し実績(36件)と未達となりましたが、補助金申請支援や経営革新計画策定支援を通じた需要分析が実施された点は評価できます。
- ・次年度は、事業者が有用と感じるアンケート調査の設計を行い、より有効な需要動向調査につなげることを求められます。
- ・補助金申請の為の調査ではなく、あくまでもニーズを把握する為に調査を実施・活用して欲しい。

3. 経営状況の分析に関すること

●計画概要

事業計画策定セミナー等の機会を通じて、予め経営分析が必要な事業者の掘り起こしを行い、経営分析を実施する。分析では、財務内容だけでなく、保有する技術やノウハウ、経営資源等の経営実態を把握する。

●実施内容

・経営分析支援事業

・儲かる経営戦略セミナー(経営革新計画策定セミナー)

開催日 令和6年7月11日(水)

場 所 長沼商工会館

受講者 13事業所(岩瀬5、長沼7、大東0、鏡石町0、天栄村1)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

内 容 経営戦略を考えるにあたり必要となる経営分析手法等について学んだ。



・創業セミナー

開催日 令和6年10月8日(火)、9日(水)、15日(火)、16日(水)、
22日(火)、23日(水) 全6回

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 13名(岩瀬0、長沼2、大東0、鏡石町5、天栄村1、地区外5)

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京氏

内 容 創業するにあたり必要となる経営分析手法等について学んだ。



●目標及び実績

内容	目標	実績	昨年度
セミナー開催回数	1	2	(2)

内容	目標	実績	昨年度	
経営分析件数	100	149	(155)	
内訳	岩瀬商工会	20	44	(50)
	長沼商工会	20	21	(13)
	大東商工会	15	15	(18)
	鏡石町商工会	30	42	(50)
	天栄村商工会	15	27	(24)

●自己評価

- ▼事業計画策定支援の際、自社の現状や強み・弱みを正確に把握するために、経営分析を行うことができた。
- ▼2回のセミナーにおいて自社の現状を正確に把握するための経営分析の手法を習得してもらうことができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	9	1	0	0

●評価委員によるコメント

- ・経営分析の実施件数は目標(100件)を上回る149件となり、事業計画策定の基盤強化に貢献したことが評価できます。特に全ての商工会が目標を達成したことは素晴らしく、積極的な支援が行われたことがわかります。今後は、更なる多面的な経営分析(知的資産、事業者のマインド)の実施に向けた取り組みを検討することも重要です。
- ・個別対応を行うことが重要であることが伺える。創業セミナーでも実施していることが浸透することで今後ニーズの掘り起こしが期待できる。
- ・さらなるメニューの充実を望む。

4. 事業計画策定支援に関すること

●計画概要

専門家と連携し、事業計画策定セミナー、個別相談会を実施し「新たな取り組み(経営革新)」に意欲を持つ事業所を発掘し、環境の変化に対応した事業計画の策定を支援する。又、事業承継・創業支援を専門家と連携しながら実施する。

●実施内容

①儲かる経営戦略セミナー(経営革新計画策定セミナー)

開催日 令和6年7月11日(水)

場 所 長沼商工会館

受講者 13事業所(岩瀬5、長沼7、大東0、鏡石町0、天栄村1)

講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

②経営革新計画策定個別相談会

開催日 令和6年7月16日(火)～11月28日(木) 実施回数44回

場 所 各商工会館

内 容 経営革新申請における事業計画作成支援【9社承認】
(岩瀬5、長沼3、大東0、鏡石町0、天栄村1)

専門家 中小企業診断士 綿貫有二氏

③創業セミナー

開催日 令和6年10月8日(火)、9日(水)、15日(火)、
16日(水)、22日(火)、23日(水) 全6回

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 13名(岩瀬0、長沼2、大東0、鏡石町5、天栄村1、地区外5)

内 容 創業間もないスタートアップ企業や地域内の創業希望者をターゲットに、マーケティングや売上計画など経営知識の向上により創業後の安定的な事業継続を支援する。

講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京氏

④会社の将来を考えるセミナー(事業承継セミナー)

日 時 令和6年8月28日(水)

場 所 鏡石町コミュニティーセンター

受講者 10名(岩瀬2、長沼0、大東0、鏡石町7、天栄村1)

内 容 事業承継についてどのような準備が必要になるか事例を基に学ぶ機会を提供した。
また、事業承継計画策定支援先の案件発掘に繋げた。

講 師 中小企業基盤整備機構アドバイザー 相馬由寛・乾比呂人氏



⑤事業承継個別相談会

日 時 令和6年9月18日(水)～12月19日(木) 実施回数11回

場 所 各商工会館

内 容 専門家を交えて個別相談を実施し、事業承継に向けた課題の整理を支援する。必要に応じて事業承継計画策定を支援する。同時に経営指導員の支援スキル向上のための実践型の講習とする。

専門家 中小企業基盤整備機構アドバイザー 相馬由寛・阿部憲夫・乾比呂人氏

●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定件数		55	33	(52)
内訳	岩瀬商工会	11	5	(20)
	長沼商工会	11	5	(1)
	大東商工会	9	1	(1)
	鏡石町商工会	15	20	(15)
	天栄村商工会	9	2	(15)

内容		目標	実績	昨年度
創業支援及び創業計画策定件数		10	12	(12)
内訳	岩瀬商工会	2	2	(2)
	長沼商工会	2	2	(3)
	大東商工会	1	1	(1)
	鏡石町商工会	3	5	(5)
	天栄村商工会	2	2	(1)

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5	0	0

●自己評価

- ▼今年度の創業セミナーは創業意欲の高い参加者が多く、非常に良いセミナーとなった。
カリキュラムについても毎年改良を加え、参加者全員が最後まで脱落せずに受講することができた。今後の創業に繋がることが期待できる。
- ▼国の補助制度の公募が少なかったこともあり、補助金の申請支援が少なかった。
- ▼事業承継支援では事業承継計画の策定までを支援した。件数こそ少ないが着実に成果をあげており、地域の商工業者の維持に微力ながら貢献することができた。
- ▼経営革新計画策定支援は、案件発掘に苦労したが、9件申請することができた。

●評価委員によるコメント

- ・事業計画策定支援の件数は目標(55件)に対し実績(33件)と未達でしたが、経営革新計画の申請9件や事業承継支援の実施など、質の高い支援が行われたことについて評価できます。
- ・創業支援は目標(10件)に対し実績(12件)と上回り、創業希望者に対して有意義な機会を提供できました。

- ・商工会ごとの実績にはバラつきがあり、地域ごとの支援ニーズの掘り起こしが課題といえます。
- ・来年度は、事業計画策定の重要性をより周知し、支援件数の向上を目指すことが求められます。
- ・セミナー、相談会は気軽に参加してもらえよう工夫し今後も継続していただきたい。
- ・専門家との同伴支援で学ぶこと、職員同士の情報交換、支援スキルの共有はとても重要かと思えます。引き続き、支援スキル向上にご尽力頂ければと思います。
- ・個別相談はそれぞれの課題解決の為、有用であると思われ活況のようで良かった。
- ・参加者も多く全員最後まで受講出来たことは良かった。そして9件申請もあり事務局の努力があり良かった。
- ・件数を増やすため、もっと周知が必要。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

●計画概要

事業計画策定後に、定期的にフォローアップを行い計画の進捗状況の確認を行う。その際に計画実行のための課題を抽出し支援策を検討する。支援にあたっては、専門家も活用しながら計画を次の段階へ進められるよう支援を行う。

●実施内容

①ブランディングセミナー(経営革新計画承認企業フォローアップセミナーⅠ)

開催日 令和6年6月5日(水)

場 所 岩瀬商工会

相談者 12社(岩瀬4、長沼4、大東1、鏡石町0天栄村3)

内 容 策定した経営革新計画の計画を実行していくための課題解決を個別相談により支援した。特に計画実行のための自社ブランディングの重要性について学んだ。

専門家 中小企業診断士 綿貫有二氏



②経営革新計画策定支援フォローアップセミナーⅡ（新事業発表会）

開催日 令和6年11月28日(木)

場 所 岩瀬商工会

参加者 6名(岩瀬3、長沼2、大東0、鏡石町0、
天栄村1)

内 容 策定した経営革新計画を事業者から発表
してもらい、参加者からの質疑応答や専
門家からの今後の計画実行に向けたア
ドバイスを受けた。

専門家 中小企業診断士 綿貫有二 氏



●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後のフォローアップ事業者数(社)		65	69	(61)
内訳	岩瀬商工会	13	20	(20)
	長沼商工会	13	11	(9)
	大東商工会	10	3	(3)
	鏡石町商工会	18	25	(25)
	天栄村商工会	11	10	(4)

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後のフォローアップ延件数		325	296	(284)
内訳	岩瀬商工会	65	27	(59)
	長沼商工会	65	43	(40)
	大東商工会	50	29	(18)
	鏡石町商工会	90	145	(126)
	天栄村商工会	55	52	(41)

内容		目標	実績	昨年度
事業計画策定後の売上増加企業数		20	42	(25)
内訳	岩瀬商工会	4	20	(4)
	長沼商工会	4	7	(1)
	大東商工会	3	2	(1)
	鏡石町商工会	6	6	(9)
	天栄村商工会	3	7	(10)

●自己評価

▼コロナ禍以降、経営革新計画の審査会が書面審査のみとなっているため、新事業発表会という形で計画の内容を発表する機会を設けた。自らの言葉で計画について説明することで改めて計画実行に取り組むモチベーションとすることができた。

▼事業計画策定後の売上増加企業が昨年度と比較して増加しており、事業計画策定による成果が出ている。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	7	3	0	0

●評価委員によるコメント

・事業計画策定後のフォローアップ件数は、目標(325件)に対し実績(296件)と未達でしたが、前年(284件)より増加しており、支援の充実が図られたことが伺えます。

・売上増加企業数は目標(20件)に対し実績(42件)と大幅に上回り、計画策定の効果が表れた点について、高く評価できます。

・特に岩瀬商工会の実績は素晴らしく、他の地域でも同様の成果が得られるよう支援策の強化が期待されます。

・事業計画策定後の売上増加企業が目標を大きく上回る成果が数字に実績としてあらわれている点は素晴らしい。

・計画策定の意識が高い企業は、より積極的な対応ができると感じた。そのフォローアップも重要であり、継続してほしい。

・セミナー参加者をもっと増やしたい。1社あたりのフォローアップ回数を増やすべき。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

●計画概要

ITを活用した販路開拓を支援し、ブランド形成・マーケティングの強化を図る。また、ECサイトへの出品や商談会への出展についても支援し、新規取引先開拓を図る。

●実施内容

①ITを活用した販路開拓(BtoC)

福島県商工会連合会が運営するECサイト「シオクリビト」の出展支援。(長沼1件)

県連 EC サイト <https://shiokuribito.com/>

②商談会等を活用した販路開拓(BtoB)

ECサイトへの出品や商談会への出展について情報提供を行った。



●目標及び実績

内容		目標	実績	昨年度
ECサイト出品企業数		7	17	(3)
内訳	岩瀬商工会	1	1	(1)
	長沼商工会	1	1	(1)
	大東商工会	1	0	(0)
	鏡石町商工会	3	13	(0)
	天栄村商工会	1	2	(1)
売上額/社		10万円	5	(2)

内容		目標	実績	昨年度
商談会参加企業数		7	1	(2)
内訳	岩瀬商工会	1	0	(1)
	長沼商工会	1	0	(0)
	大東商工会	1	0	(0)
	鏡石町商工会	3	1	(1)
	天栄村商工会	1	0	(0)
新規取引先開拓件数/社		1	0	(2)

●自己評価

▼ITを活用した販路開拓支援の一環として、県連 EC サイト「シオクリビト」、への出展支援を行うことができた。

▼SNS 活用については、個別相談の要望も減少傾向にある。商工会員向け無料ホームページ「ゲーペ」の活用等も提案していきたい。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	0	5	9	0

●評価委員によるコメント

- ・EC サイトへの出品企業数は目標(7 件)に対し実績(17 件)と大幅に上回り、IT を活用した販路開拓の支援が進んだことが評価できます。
- ・商談会参加企業数(目標 7 件→実績 1 件)、新規取引先開拓件数(目標 1 件→実績 0 件)と振るわず、BtoB 販路開拓の強化が課題となっています。
- ・来年度は、オンライン商談会の活用や販路開拓支援の充実を図ることが望まれます。
- ・EC サイト活用は積極的に行っていただきたい。商談会は、実施方法、自治体との連携を考えても良いのではないか。
- ・SNS 活用についてゲーペの活用の件数を上げて欲しい。
- ・商談会については実施する意義が薄れてきている。中止も検討すべき。
- ・ECサイトについては今後も伸ばしてほしい。

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

●計画概要

外部有識者(中小企業診断士等)、市町村担当者、岩瀬管内 5 商工会から選出された事業者代表、福島県商工会連合会、法定経営指導員で構成する「評価検討委員会」を毎年度 1 回以上開催する。委員会では、経営発達支援事業の実施状況、成果について評価・検証を行う。評価・検証の結果は、各商工会の理事会等で報告する他、岩瀬商工会のホームページで公開する。

●実施内容

①評価検討委員会の開催

(1)経営発達支援計画評価検討委員会

日 時 令和 7 年 2 月 19 日(水)

内 容 令和 6 年度 経営発達支援事業の実施報告について

令和 7 年度 経営発達支援計画に基づく事業(案)の骨子について

●自己評価

▼評価検討委員会での指摘事項等を次年度事業に反映させることでよりよい事業を行うことができている。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5	0	0

●評価委員によるコメント

- ・評価検討委員会の開催を通じた PDCA サイクルの確立は評価できます。
- ・委員会での指摘事項が次年度事業に反映されていることは継続的な改善につながっており、良い取り組みと評価します。

8. 経営指導員等の資質向上に関すること

●計画概要

小規模事業者の経営発達に資するために、経営指導員及び経営支援員の資質向上を図る必要がある。経営分析や事業計画作成、コミュニケーションスキルなど支援ノウハウを習得し、共有することで実効性のある経営支援に取り組める環境整備を行う。

●実施内容

①事業承継支援実践型講習会

(1)事業承継支援成果発表会

- 日 時 令和6年12月5日(木)
場 所 岩瀬商工会館
参加者 岩瀬管内経営指導員5名
専門家 中小企業基盤整備機構アドバイザー
相馬由寛・阿部憲夫・乾比呂人 氏
内 容 事業承継個別相談での支援事例を経営指導員がそれぞれ発表し、支援ノウハウの共有を図った。



(2)事業承継個別相談会

- 日 時 令和6年9月18日(水)～12月19日(木) 実施回数11回
場 所 各商工会館
内 容 専門家を交えて個別相談を実施することで経営指導員の支援スキル向上のための実践型講習を行った。

②情報共有による資質向上

専門家による個別相談の際には、必ず経営指導員及び経営支援員が同席し支援することで、実務を通じて専門家の高度なノウハウやスキルを学ぶ機会とした。又、管内経営指導員による経営支援会議において経営支援に関する情報交換を行い、支援ノウハウの共有を図った。

③kintone 操作体験会

日 時 令和6年7月4日(木)

場 所 岩瀬商工会

参加者 経営指導員5名

内 容 経営指導員の資質向上を図るため、ノーコードで業務のシステム化や効率化を実現するアプリ「kintone」の操作体験を行い、経営支援の場で活用できるようにした。



●自己評価

▼「kintone」の操作を経営指導員自らがまず体験したことで今後の事業所のDX支援に役立つことが期待できる。

▼県連主催のセミナーの他、中小機構の事業承継実践型講習での成果発表会を通して支援事例を共有することで経営指導員の資質向上に繋げることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5	0	0

●評価委員によるコメント

- ・事業承継支援の実践型講習や成果発表会を通じて、経営指導員のスキル向上が図られた点は評価できます。
- ・「kintone」の操作体験を通じたDX支援の可能性を探る取り組みは、今後の事業者支援に活かされることが期待されます。
- ・今後は、ITスキル向上だけでなく、個別の支援事例をより深掘りし、ケーススタディを共有することで実践的なスキルを養う場を増やすと良いでしょう。
- ・経営指導員のOJT(実践研修)の仕組みを強化し、支援スキルの均質化を進めることが求められます。
- ・支援ノウハウの共有は素晴らしい。これからも情報交換を進めてほしい。

9. 他の支援機関と連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

●計画概要

小規模事業者の支援を推進するため、他の支援機関との連携により、効果的な支援の実施及び支援ノウハウの共有を図る。

●実施内容

①小規模事業者経営改善資金貸付推薦団体連絡協議会(今年度事業重複のため不参加)

内 容 日本政策金融公庫が主催。郡山支店管内の経済状況や金融動向、近隣各地区の景況等の情報交換を行うことで連携を密にし、経営分析スキルの向上と円滑な資金繰り、融資支援のノウハウ等の共有を図る。

②小企業者記帳指導協議会

日 時 令和7年1月20日(月)

場 所 須賀川市民温泉2階会議室

内 容 須賀川税務署、東北税理士会須賀川支部との連携により、管内の景況等の情報交換を行う他、税務支援のノウハウの共有を図る。

③事業承継支援実践型講習会

日 時 令和6年9月18日(水)～12月19日(木) 実施回数11回

場 所 各商工会館

内 容 中小企業基盤整備機構と連携し、管内の事業承継支援を実施した他、支援ノウハウの共有を図る。

●自己評価

・中小企業基盤整備機構等の支援機関と連携することで支援ノウハウの共有を図ることができた。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	5	5	0	0

●評価委員によるコメント

・中小企業基盤整備機構をはじめとして、他の支援機関との連携を強化し、支援ノウハウを共有している点は評価できます。

・他地域との情報交換をさらに促進し、事例共有を図ることが望まれます。

- ・関連団体、機関等との連携やコミュニケーションルートの確保は大変重要であり、もっと活発であっても良い。

10. 地域経済の活性化に資する取組に関すること

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

・岩瀬管内市町村長と商工会長等との懇談会

日時 令和6年12月2日(月)

場所 長沼商工会館

内容 管内市町村長を招いて経営発達支援計画に基づく事業の推進や地域の課題解決について懇談を行った。



●自己評価

▼懇談会では、経営支援の実施状況を説明することで、商工会の取り組みについて理解を得ることができた。また各商工会において日頃から、地域経済の活性化のための事業に積極的に取り組んでいる。

●評価委員による評価

	A	B	C	D
委員評価	6	4	0	0

●評価委員によるコメント

- ・市町村長と商工会長等との懇談会を開催し、地域の課題解決に向けた議論を行った点について評価できます。
- ・地域の産業振興につながる具体的な施策(新規事業支援、特産品開発、観光資源の活用など)を本取組で検討することが求められます。
- ・各自治体首長との意見交換はもっと時間をとっても良いと思う。
- ・懇談会が主な目的だったように感じたが、そういう場も必要だと思う。

●全体的な感想・意見

- ・引き続き地域の中小企業の活性化、及び事業継続発展に向け自治体と連携し取り組んでいただきたい。
- ・引き続き、行政と商工会との役割分担を明確にしたうえで、さまざまな施策を講じて参りたい。
- ・支援ニーズの把握からどう実行支援につなげていくか今後の課題。
- ・職員、専門家との支援ノウハウの共有は引き続き注力して頂きたい。
- ・高齢化や後継者不足等での廃業は極力避けたい。会員数の減少の懸念があり、各単会でも会員増というよりは会員減をくいとめる策として今後も継続した支援が必須であり、指導員の活躍に期待している。
- ・岩瀬広域のみならず県内各広域の問題点等もとりあげて地域間の協力を図ることも必要か。
- ・経営指導員等の資質向上、スキルUPについて今後も進めてほしいです。会員のノウハウ向上、スキルUPに繋がると思います。
- ・今後事業承継は大きな課題となってくるが、商工会が様々な取組を実施し大きな役割を果たすようになって欲しい。

●評価委員長総括

- ・本年度も地域の小規模事業者を支援する多岐にわたる取り組みが実施され、特に事業計画策定後のフォローアップ支援により、売上増加企業数が目標を大幅に上回る成果を上げました。経営分析件数や創業支援の実績も順調であり、事業者の成長を後押しする支援が着実に進んでいることが評価されます。
- ・事業計画策定支援の件数が目標を下回ったことは課題です。これは、国の補助金メニュー自体の減少も影響しており、外部要因によるものと考えられます。今後は、事業計画策定支援においても、補助金という目的のみに依存しない経営力強化の支援策を充実させることが重要です。
- ・今後は、デジタル活用支援の強化、事業承継支援のさらなる推進、地域経済活性化に向けた行政・関係機関との連携強化を図り、支援の質をより一層高めていくことが期待されます。
- ・成果は出ており良い取組状況と思います。今後目標未達に対する改善の取組強化を期待します。